

東京大学大学院准教授 前真之先生が考える

健康・快適な暮らしを電気代を心配をせずに 実現できる家づくり



25年にわたり省エネ住宅、エコハウスを研究されている東京大学大学院工学系研究科准教授 前真之先生に、健康で快適な暮らしとは何か？お伺いしました。

日本の住宅の問題点

東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻准教授博士（工学）前真之先生

「暖かく涼しい健康・快適な暮らしをいつまでも最小のエネルギーですべての人に」。これが前先生が掲げるエコハウスのテーマだ。そしてその実現のためにまず必要となるのが熱や空気の移動を減らす「断熱・気密」だ。

ところが、日本の住宅は低断熱・低気密と言われている。実際に前先生の研究室が実施したアンケートにおいても「床が冷たい」「窓周りから冷気が伝わる」「住宅内で部屋間の温度差が大きい」といった、断熱性能が低いことに起因する不満が多くあがっている。

前先生 豊嶋建築展示場に視察においでになりました



令和6年1月17日

先日青森県による『あたたかな住まいと健康について』の建築業者向けの講習会が開かれました。

講習会の前に、講師の東京大学学院の前真之先生と八戸高専の馬渡龍先生が、弊社モデルハウスに視察に来て省エネのアドバイスや換気設備、エアコン計画など質問をうけ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

講習会では弊社の省エネ設備の設置例を紹介させて頂き、工夫した所など紹介してもらい、これからのバランスの取れた省エネ住宅提案に活用させて頂きたいと思っています。

これからも実績データを元に豪雪地帯の青森市でも東京並みに発電出来る提案をしていきたいと思っています。

20年後 30年後も住んで快適な家

弊社の家はジョイ・コス工法を取り入れ、健康・環境・光熱費・温度差がない家・災害に強いレジリエンス住宅です。

『断熱・気密・換気』の断熱計画・換気計画がしっかり出来ているため、光熱費が安い家になります。

まさしく、前先生の求めている家に近いのではないのでしょうか。

豪雪地帯の青森市にある豊嶋建築(株)住宅です。是非、是非見学に来ていただきたいと思っています。



温度差の実験写真です

ジョイ・コス 住宅システム
JOYKOS



豊嶋建築株式会社